

システムの
セットアップ
と使用



内容

新しいスキー *mojo* をご購入いただき、**ありがとうございます**。この先何年もスキーをお楽しみいただけます。

1.

2つの一時的な締め金式ボールスタッド(初期セットアップとレンタルブーツ用)



2.

伸縮性のあるグロインストラップ付きハーネス



3.

mojo ヒンジ付き2つのネオプレーン膝サポート(左右)



4.

2.5Mm 六角棒スパナ(六角レンチ) - ツールキット!



5.

4つのロッドブロッカー(推奨ですがオプション)



6.

ネジとワッシャー付き2つのボールスタッド(自分のスキーブーツ用の恒久的なフィッティング)



7.

他の補完アイテム - 伸縮性ベルト(スキーブーツを履かずに長時間過ごす人用)



フィッティングクイックガイド

1. スキーブーツに締め金式ボールスタッドを取り付けます。

a) スキーブーツの後ろにアタッチメントを引っ掛けます。締め金の端はスキーブーツの中心から20mm、ブーツの外側に向けます。(ガイドとして20mmの締め金を使用することができます)。



b) ロックディスクを少し時計回りに回し、ロックを解除します。



c) しっかりと掴むまで(ロックディスクを押さえながら)六角棒スパナで締めます



d) 六角棒スパナをネジにさしたまま、ロックディスクを反時計回りに回してロックします。



ロックディスク

2. ハーネスを取り付けます (必要に応じて、調整します)

a) メインストラップ下部の伸縮性ストラップでハーネスの輪に入ります。



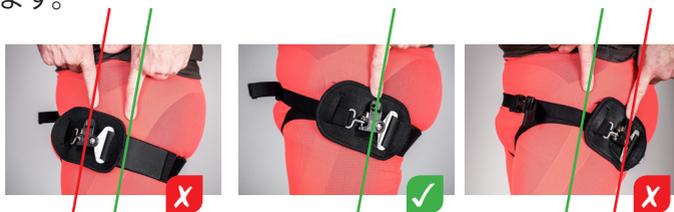
b) ハーネスを引き上げ、メインストラップがお尻の下になるようにします。



c) バックルを上げ、伸縮性のある端がぴったりとフィットするようにします。



d) ハーネスコネクターの位置を確認します。下部の穴は太ももの外側と一直線に並ぶ必要があります。



e) ハーネスコネク터를動かす必要がある場合 - ハーネスクリップと保護パッドでマジックテープをはがし、正しい場所に位置を調整する (目安として 5cm ごとに赤いステッチの線があります)。

このステップをとばさないでください!



3. mojo を体重に合わせて設定します (左右)

体重と圧縮チャート

a) 自分の体重をチャート内に見つけ、何回アジャスターを回す必要があるかを確認します

ゴールドスプリング = グラックスイッチ、
シルバースプリング = グレースイッチ、
ブルースプリング = レッドスイッチ。

KG	ポンド	ストーン
123	271	19St 5 ボンド
121	267	19St 1 ボンド
119	262	18St 10 ボンド
117	258	18St 6 ボンド
115	254	18St 2 ボンド
113	249	17St 11 ボンド
111	245	17St 7 ボンド
109	240	17St 2 ボンド
107	236	16St 12 ボンド
105	231	16St 7 ボンド
103	227	16St 3 ボンド
101	223	15St 13 ボンド
99	218	15St 8 ボンド
97	214	15St 4 ボンド
95	209	14St 13 ボンド
93	205	14St 9 ボンド
91	201	14St 5 ボンド
89	196	14St
87	192	13St 10 ボンド
85	187	13St 5 ボンド
84	185	13St 3 ボンド
83	183	13St 1 ボンド
81	179	12St 11 ボンド
80	176	12St 8 ボンド
78	172	12St 4 ボンド
77	170	12St 2 ボンド
76	168	12St
75	165	11St 11 ボンド
73	161	11St 7 ボンド
72	159	11St 5 ボンド
71	157	11St 3 ボンド
70	154	11St
68	150	10St 10 ボンド
67	148	10St 8lb
66	146	10St 6lb
65	143	10St 3lb
64	141	10St 1lb
63	139	9St 13lb
62	137	9St 11lb
61	134	9St 8lb
60	132	9St 6lb
59	130	9St 4lb
58	128	9St 2lb
57	126	9St
56	123	8St 11lb
55	121	8St 9lb
54	118	8St 6lb
53	117	8St 5lb
52	115	8St 3lb
51	112	8St
50	109	7St 11lb
49	108	7St 10lb
48	106	7St 8lb
47	104	7St 6lb
46	101	7St 3lb
45	99	7St 1lb
44	98	7St

ゴールド	
24	5 番目の印
23	
22	
21	
20	
19	
18	4 番目の印
17	
16	
15	
14	
13	
12	3 番目の印
11	
10	
9	
10	
7	
6	2 番目の印
5	
4	
4	
3	
2	
1	
1	
0	1 番目の印

シルバー	
24	5 番目の印
23	
22	
21	
20	
19	
18	4 番目の印
17	
16	
14	
13	
12	3 番目の印
11	
10	
9	
8	
7	
6	2 番目の印
5	
5	
4	
3	
2	
2	
1	
0	1 番目の印



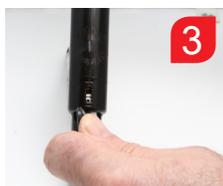
ブルー	
24	5 番目の印
23	
22	
21	
20	
19	
18	4 番目の印
17	
16	
15	
14	
13	
12	3 番目の印
11	
10	
9	
8	
7	
6	2 番目の印
5	
4	
3	
2	
1	
0	1 番目の印

- b) ネオプレーンを一方に引き、パワーアジャスターとインジケーターを出します。

スプリングイ
ンジケーター
ピンバレルアジャスター



- c) 六角棒スパナの端をバレルアジャスターの見える 2 つの穴の右側にある穴に挿入（「スプリングアジャスターインジケータースロット」の上にして見たとき）し、六角棒スパナをレバーとして使用します（何も変わらないため、六角棒スパナを回さないでください）。右の穴が左の穴になるまでパワーアジャスターを回転します（六角棒スパナを入れたまま）。穴から六角棒スパナを抜き、チャートに示された回数だけ繰り返します。



4. スキーブーツとハーネスを付けた状態で mojo を脚の長さに設定します(左右)。

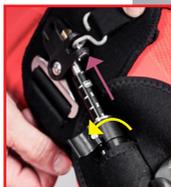


- ▲ a) 下部の伸縮ロッドの端のスリーブをスライドして上げ、ソケットを出します。
- ▶ b) ブーツのボールスタッドにソケットを置き、スリーブを戻します。
- c) 下部の伸縮ロッドを固定している締め金をもとにゆるめます(開きます)。
- ▲ d) mojo のピボットを膝の横までスライドして上げ、締め金を閉じます(締めます)。



- ◀ e) マジックテープのシンストラップを可能な限り、快適にしっかりと締めます。
太ももストラップを上げます。

- f) 上部の伸縮ロッドを固定している締め金をゆるめます(開きます)。



- g) 伸縮ロッドの上部をハーネスコネクター下部の穴にスライドし、締め金を閉じます(締めます)。(取り外すために)ロッドにハーネスコネクターがカチリとはまったら、小さい金属製のボタンを押します。
- h) 他の mojo の伸縮ロッドを同様に設定し、装着します。



おめでとうございます。
フィッティングが完了しました。

スキーに行く前のクイックテスト.....

(スノーボードブーツでは不要です)
mojo のスイッチを入れる (噛み合わせる)
にはスイッチを押し下げ、脚を伸ばします。

mojo フリップのスイッチを切る (解放する)
にはスイッチを押し上げ、脚を伸ばします。



mojo が噛み合っている状態で膝を約 45 度に曲げ (バランスをとるために椅子やテーブルを持ちます)、スキーブーツのつま先を地面から少し持ち上げて、かかとでバランスを取ります。足が曲げ伸ばしできなければ、フィッティングは完了です。

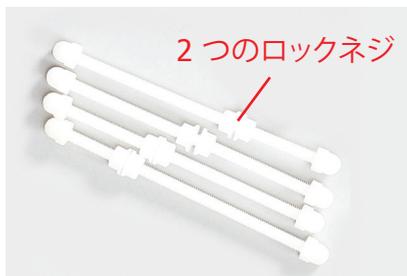


しかし、このテスト中に足を伸ばすことができれば、締め金ブーツフィッティングをブーツの外側に向けて少し動かす必要があります。このテスト中に足を曲げることができれば、締め金ブーツフィッティングをブーツの内側に向けて少し動かす必要があります。

ロッドブロッカー

また、スキーをしている間に伸縮ロッドが動く可能性を取り除くため、4つのロッドブロッカーを使用することをお勧めします。

- ネジ式ロッドの2つのフランジ付きネジを好きな位置で一緒に固定します(手で締めれば十分です)。



- 伸縮ロッドカム締め金をゆるめます。



- 伸縮ロッドをスライドして外します。

- 伸縮ロッドの開いている端にロッドブロッカーをスライドして入れます。



- ロッドブロッカーが入った状態で伸縮ロッドを再度挿入します。



必要に応じて、2つのロックネジの位置を変え、好きな長さでロッドがブロックされるようにします。

ブーツスタッド

自分のスキーブーツを持っている場合は、締め金を使用するよりもボールナットを直接スキーブーツにフィットさせることを強く推奨します。
(ふくらはぎの筋肉が大きい限り - 「ハック」セクション参照)

ガイドとして締め金で残した印を使って、スキーブーツに 4mm の穴を開けます。実際の穴を作るためにより適切な場所である場合、印の上または下に穴を開けることができます。



パワーストラップを固定する 2 つの固定具がある多くのスキーブーツでは外側の固定具が通常、理想的な位置にあります。

より高い、またはより低いフィッティング位置を使う場合 - 対応する量により、伸縮ロッド (とロッドブロッカー) の長さを調整することを忘れないでください。

設定に満足した場合 - この小冊子の裏面にメモしておくことをお勧めします。

M4 機械ネジのワッシャーでスキーブーツの内側から穴を通してそれを押しします。

もう 1 つのワッシャーを突き出しているネジに取り付け、次にボールスタッドに取り付けます。六角棒スパナと 10mm スパナ (またはペンチやグリップ) を使って、ボールスタッドを締めます。



スノーボード

スキー mojo をスノーボードに使う場合、一時的なブーツ締め金またはボルト留めスタッドを受け入れるためにブーツを固くする必要がある可能性があります。

溝や排水管などの曲がったプラスチック片を約 100mm 四方にカットして、中央に 4mm の穴を開けて、ブーツの内側と外側でスライドさせることをお勧めします。

足の回転に問題はないため（両方ともスノーボードに固定されています）、ブーツの位置はスキーほど重要ではありません。しかし、フィッティングがスノーボードのビンディングの邪魔にならないようにする必要があります。



日常での使用

雪がメカニズムに入り込んでスイッチが機能しなくなる恐れがなくなるため、スキー mojo はスキーウェアの下に装着することを強くお勧めします。また、スキー mojo を

装着することでより良く見えます...

ステップイン、ストラップアウト、スナップイン、スキーオフ...



標準スキーパンツ:-

1. ハーネスに脚を入れ、位置に引き上げ、バックルを締めます
2. mojo をハーネスクリップにスナップで取り付けます (すでに取り付けられていない場合)
3. mojo をストラップで取り付けます (可能な限り、快適にしっかりとシンストラップを締めます)
4. スキーウェアにスライドして入れます (下のロッドが他のものに引っかからないように注意)
5. スキーブーツにステップインし、mojo を取り付けます

フルサイズジッパースキーパンツ:-

1. ハーネスに脚を入れ、装着し (ベルトが取り付けられているかどうかにかかわらず)、バックルを締めます
2. スキーウェアにスライドして入れます
3. スキーブーツに足を入れます
6. サイドジッパーをスライドして開けます
7. mojo をハーネスにスナップで取り付け、スキーブーツに取り付けます
8. mojo をストラップで取り付けます (可能な限り、快適にしっかりとシンストラップを締めます)
9. サイドジッパーをスライドして閉じます

スキーを取り外している場合、mojo のスイッチは切ってください。
スキーを取り付けている場合、mojo のスイッチを入れてください。

例外: チェアーリフトに乗るときや坂をサイドステップで登るとき

スイッチは十分に大きいため、スキーグローブをつけた状態でも、スキーウェアの上から簡単にアクセスすることができます。



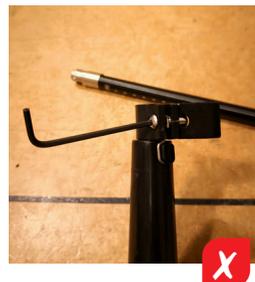
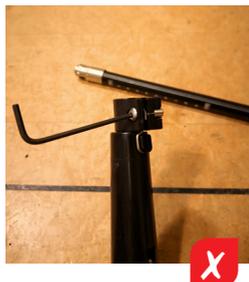
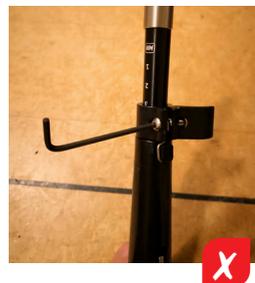
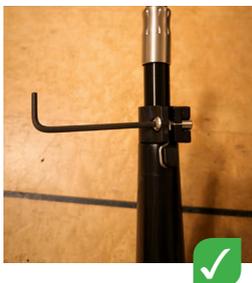
チェアーリフトに乗る前にスイッチを切ることを忘れた場合もパニックにならないでください! (誰もが切り忘れることがあるでしょう) 単にスイッチを切って脚を上に乗って、脚を真っ直ぐにして解放します。

トイレに行くときはハーネスの前部にあるバックルを元に戻す、または金属製のリリースボタンを押してハーネスをハーネスクリップから外し、ハーネスを mojo から外して下ろすことができます。

習慣にすると良いこと...

スキーをするたびに、ブーツスタッドを確認し、ゆるんでいないことを確認します。

スキーをするたびに、伸縮締め金を確認し、固定しているネジがゆるんでいないことを確認します。六角棒スパナでネジを締めることができますが、**締め金が閉じた(ロックされた)位置にあり、伸縮ロッドが所定の位置にあるときのみ、締め金ネジを締めるべきです。**締め金を開けた状態で、または伸縮ロッドを所定の位置に取り付けずに締め付けると、破損する可能性があります。



「サスペンダー」ベルト

ハーネスクリップにはスロットと穴があり、スキーブーツを着用していないときにはスキー mojo を持ち上げることができます。これには多くの方法があります。簡単な最初のオプションとして無料のベルトを提供します。

スキーブーツを履いているときは、スキー mojo を握る必要はありません。しかし、一部の人にとっては追加のサポートが役に立ちます。スキーブーツで支えられていないと脚を滑り落ち始めることがあるため、スキーブーツを脱ぎ、mojo を着けて長い時間を費やす場合、通常はスキー mojo を持ち上げるだけで構いません。

ベルトを使用するには、サスペンダーストラップを吊り下げて腰に巻き付け、それに合わせて長さを調整します。



帯ひものラダーロックを外し、ハーネス締め金のスロットを通して使用していない方のストラップの端を入れ、ラダーロックに再度通します。好きな長さに調整し、滑らないように使用していない方の端をラダーロックに通します。両側を同じようにしたあと、ベルトの裏側にあるゴムの両端をハーネスのポスチャーストラップの上にマジックテープで留めます。

ハック

- ストラップを外すときはマジックテープが他のものに引っかからないようにするため、いつもストラップのマジックテープを折りたたんでネオプレーンに戻します。
- 太もものストラップはマジックテープで固定されているため、位置を変えることも完全に取り外すこともできます。太もものストラップを外している場合、脚を真っ直ぐにするだけは簡単に mojo を噛み合わせることができない可能性があります。
- ハーネスを簡単に着脱できるようにするため、ポスチャーストラップ(背面の広いストラップ)のネオプレーンストリップを取り外し、ストラップを直接マジックテープのショートパンツまたはベース層に取り付けることができます。また、同じくマジックテープで取り付けられている伸縮性のあるグロインストラップを取り外したいことがあるかもしれません。
- 脚を真っ直ぐにすることで簡単に mojo を噛み合わせることが難しいと感じた場合...
 - mojo が噛み合うまでゆっくりと膝のヒンジを押し込みます。
 - または、mojo が噛み合うまでハーネスクリップを引き上げます(オプションのベルトを使用すると便利です)。
 - または、セットアップが完全に正しくないため、ポスチャーストラップを長くする必要があります。
 - または、脚を真っ直ぐに伸ばすことが物理的に不可能な場合があります。その場合、mojo が噛み合う角度を変更することができます。このためには、ネオプレーン膝サポートから mojo を取り出し、ケーブルの端にあネジからゴールドまたはシルバーのラベルをはがし、ネジを調整して必要な噛み合わせ角度を変え、新しいテープまたはステッカーを使ってネジを新しい位置に固定します。
- ふくらはぎが大きい場合やワッシャーが詰め込まれている場合は恒久的なスタッドの代わりにブーツ締め金を使用してください。

- ブーツ締め金やスタッドを支えるには邪魔だったり、柔らかすぎる場合はフィッティングを行うためにブーツスポイラーを取り外します(あとでスポイラーを再び取り付けることも可能です)。
- パワーストラップの外側の穴/固定具は通常、最適な位置にあります。- 実際の固定具がない場合も、ブーツのシェルの内側にあるくぼみがこの位置に大抵あります…。そのため、外側から穴を開ける前に、シェルの内側を確認することをお勧めします。
- 穴を開ける前にスキーブーツからライナーを外したほうが良いです。
- フィッティングはベース層やレギンスを着用したほうが良くできます。
- トイレ - ハーネスの前面にあるバックルを元に戻し(使用されている場合はベルトを締め)、ハーネスを下げるために、ハーネスクリップの金属のリリースボタンを押して、上部ロッドを外します。
- チェアリフトから降りる前にスキー mojo を着用したいときにスキーウェアの素材が引っ張られるため、座っているときにスイッチの噛み合わせ/開放が難しい場合があります。座る前に(脚を曲げて)スイッチをひっくり返すほうが良いです。
- フルのサイドジップスキーパンツはアクセスをより簡単にし(スキーをしている間に調整を行う必要がある場合)、簡単にスキー mojo を脱着することができます。
- 恒久的ブーツスタッドのネジは完全な「ロッキング」コーティングではなく、振動に強いコーティングが施されています。スタッドを「ロック」したい場合、スタッドロック接着剤または瞬間接着剤をネジ山に塗ります。しかし、将来的にはスタッドを元に戻すことができなくなる可能性があります。
- ブーツからスタッドを取り外すことができない場合、ステンレス鋼に適したドリルビットを使用してネジ頭をドリルで取り出すことができます(その後、交換用のスタッドとネジを購入する必要があります)

ベアユニット

スキー mojo の中で磨耗しそうな唯一の機械的部分はケーブルです。ケーブルは車のタイヤに似ています。車で何十万マイルも走ることを期待しますが、タイヤを数回交換することを予測するでしょう。

レクリエーションスキーヤーの場合、スキー寿命の間、ケーブルはもちます。プロのスキーヤーがシーズン中、毎日一日中スキーした場合、2 シーズンもちます。しかし、これは重量設定やスキーのスタイルにより、変動します。また、通常、ケーブルのより糸の間に破片が入り込むことで(パンクのように)、ケーブルが早く破損することがあります(1本のより糸が破損すると、全体的な破損は避けられません)。

保証期間に関係なく、摩耗の結果として破損したケーブルは通常、無料で交換します。また、少額の料金でケーブルを予防のために交換します。

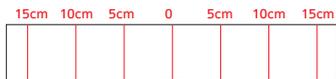
ケーブルが破損したときに困らなくするため、スペアの「ベアユニット」を携帯することができます。これは、スペアタイヤを車に積んでいるようなものです。破損したケーブルはベアユニットに比較的簡単に自分で変更することができます。その後、破損したケーブルのユニットを弊社に送り、ケーブルを交換することができます(1つのケーブルが破損した場合、どちらも同じくらい使用されているため、通常、療法を交換します)。

他の交換/スペア部品と同様、ベアユニットは弊社のウェブサイトから購入することができます。www.skimojo.com

名前:

スプリング ゴールド/シルバー
(適切な場合、削除)

ポストチャストラップ設定

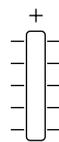


(マジックテープの端の印の位置)

パワー設定

動かす回数

またはインジケーターの位置



(印の位置)

長さ設定

設定された上部伸縮ロッド cm

設定された下部伸縮ロッド cm

保証

Kinetic Innovations Limited は購入日から1年間、素材と製造に欠陥がないことを保証します。保証の対象となる製品に欠陥が見つかった場合、弊社の判断で新しいまたは中古の部品を使用して修理する、または修理が不可能な場合はそのアイテムを交換します。

例外

この保証は製造元が推奨するように製品を使用している間に見つかった製造上の欠陥に適用されます。保証は紛失や盗難、また、誤用、悪用、無許可の改造、不適切な保管条件、落雷、自然災害によって引き起こされた損害には適用されません。保証は包装、無料アイテム、通常の摩耗の交換要件の対象となる部品には適用されません。

責任の範囲

製品が故障した場合、前の段落の記述のように、唯一の頼りは修理または交換です。本製

品の破損により生じたいかなる損害または怪我に対し、弊社は利用者または他のいかなる相手に対しても責任を負いません。除外される損害には以下が含まれますが、これに限定されません。利益の喪失、貯金の喪失、データの喪失、他の機器または人への損害使用から生じる付随的または必然的な損害、この製品の使用不可。いかなる場合も、Kinetic Innovations Limited は税金、配送料、手数料を除く購入価格の総額を超えたり、製品の現在の表示価格を超える責任を負いません。Kinetic Innovations Limited は明示または黙示を問わず、その他のいかなる保証も否認します。

製品を取り付けまたは使用することで、利用者はここに記載されているすべての規約を受け入れます。

この保証内でサービスを受ける方法

次のいずれかの方法でご連絡ください。

郵送: Kinetic Innovations Limited
Faygate Cottage, Wimlands Lane,
Faygate, Horsham,
West Sussex RH12 4SP

メールアドレス: info@skimojo.com

電話: 0044 7786 753267

返送費用は Kinetic Innovations Limited が支払います。Kinetic Innovations Limited または公認の修理センターへの配送費、通関手数料や関税の支払いは利用者が負担します。



スチームボートスプリングスのフィル。

ハッピーな
お客様が使用

ski~mojo



バケイラベレットのマヌエル。